



悔いがないように
いろいろな経験を
してください

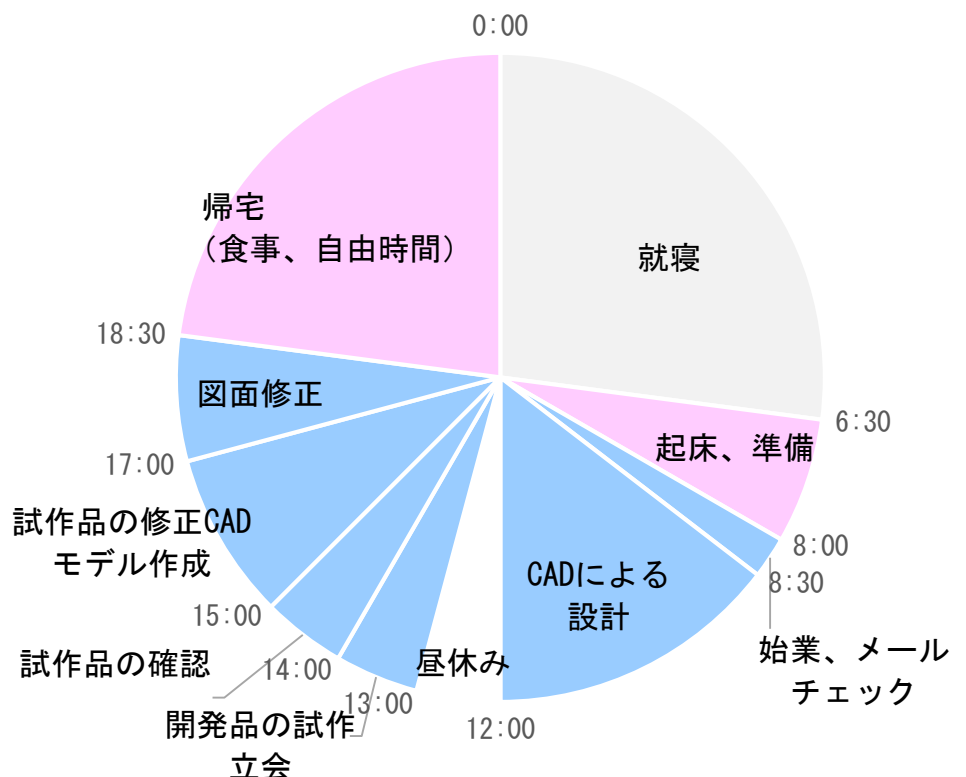
しろま
城間 ひかる さん

2011年3月 沖縄工業高等専門学校 卒業
2015年3月 長岡技術科学大学大学院 修了
2015年4月 (株)タンガロイ入社
 転削工具開発グループ所属

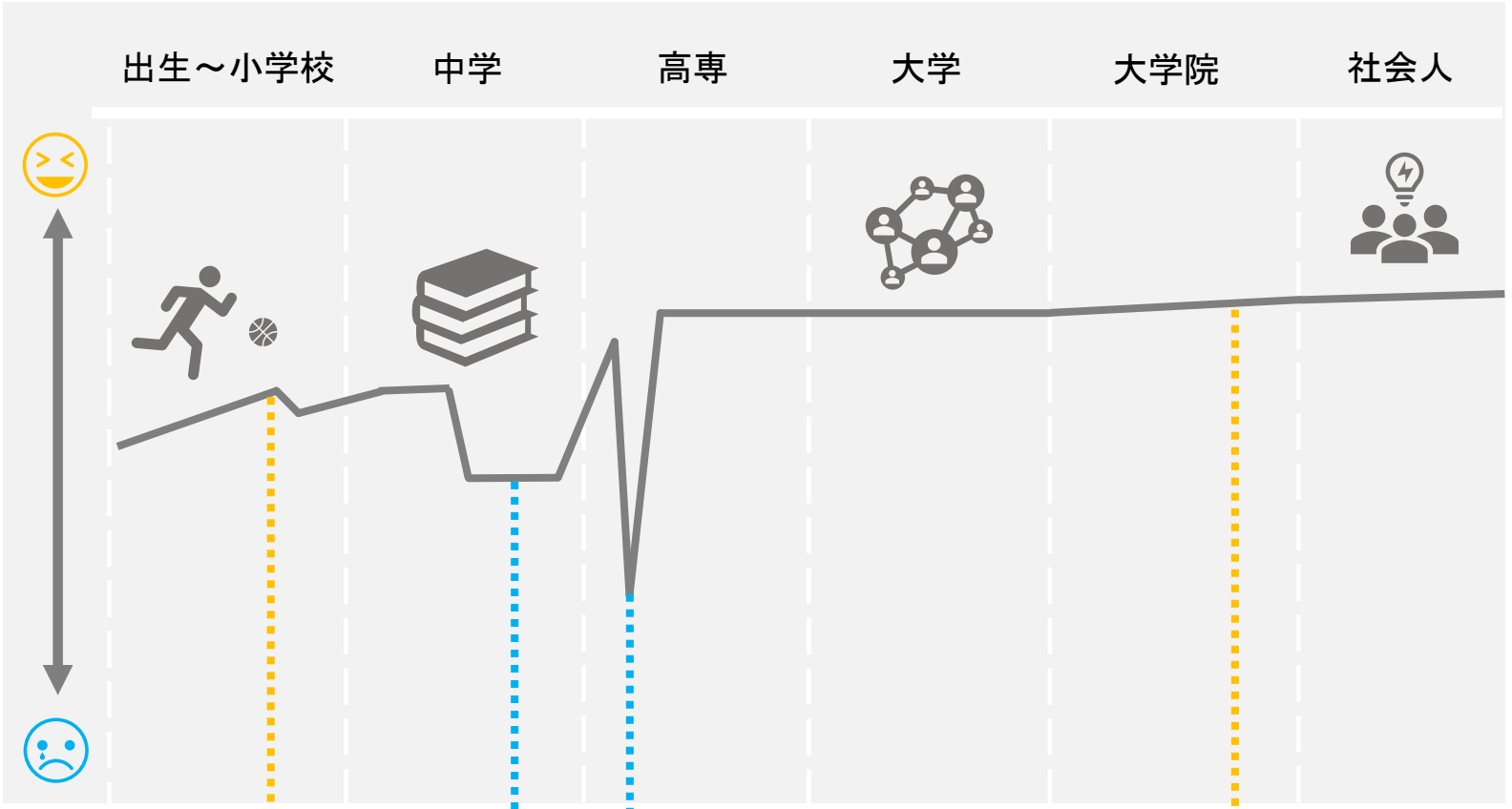
✓ 城間さんの 日々のルーティン


製品開発は、
製品設計、試作、評価
試験といった工程を、
半年～2年ほどの期間
をかけて行っています。
忙しい時期もあれば比
較的余裕のある時期も
あります。

帰宅後は、家事を
行った後ゆっくり映画を
見たり、ゲームをしたり
など趣味の時間を設け
ています。



✓城間さん “私のライフチャート”



	出生～小学校	中学	高専	大学	大学院	社会人
出来事	様々な運動部に所属し、活発な子供だった。他に英会話スクールや習字教室、塾にも通っていた。	本当にやりたい部活が無く3年間で5つの部活を渡り歩いた。読書が好きで、最も本を読んだ卒業生ということで表彰された。	女子寮で5年間を楽しく過ごす。普通校に通う友人の学生生活との差に驚く。	大学院まで行くことを考えていたため長岡技術科学大学へ。長期間に渡る海外実務訓練が最も良い思い出。	長岡の冬を楽しみながら院生生活を送る。就職の際に選択肢が多いことから、工学系を選んで良かったと感じた。	就職先へ引っ越し。OJTを経て開発業務へ携わる。業務に慣れてきたころに結婚。
影響を受けた出来事/出会い	実家近くに国際協力機構があったこと、友人がアメリカに引っ越すことなどが重なり、英語や海外に興味を持つようになった。	父親。やりたいことは殆ど挑戦させてもらえた。土木系出身だったこともあり、進路を考える時に工学系も考えるようになった。	中学までの一夜漬けのような勉強方法では太刀打ちできないことを知った。自分に合う勉強方法を模索した。	海外実務訓練で知り合った人々。角を立てたくなくて自分の意見を言えなかった私に、自己主張することの大切さを教えてもらった。		会社の先輩や上司。学生時代の研究と比べて金銭が係ることから仕事のスピード感や取り組み感が違うことを学ぶ。
成功体験	バスケットボールクラブでスタメンになった。	高専の入学試験内容が公立と異なることを知り、だめもとで受験して合格した。	赤点をきっかけに、自分に合った勉強方法を発見した。	海外で半年間生活したこと、一人でEU旅行を企画・実行したこと、案外どこでもどうにかなることを学んだ。	希望する就職先から内定をもらうことができた。一度は作ってみたいかった「巨大かまくら」を一晩かけて作り、その中で鍋パーティをした。	ユーザから受けた加工時間短縮のプロジェクトを成功させた。
失敗体験	熱湯が入った急須をひっくり返して両脚に大やけどを負った。人生で一番ひどいケガだった。	思春期になり、「勉強する意味が分からない！」となって塾を衝動的にやめた。	1年生の中間試験の結果が今まで見たことがないほど悪かった。赤点をとったのはこれっきり。	大学編入したばかりの頃、体調不良に気づかずサークル活動へ参加し、インフルエンザをメンバーへうつしてしまった。	高専の頃から寮暮らしで、年に1回帰省するかしなないか。もう少し帰省頻度を増やせば良かったと痛感。	新しいモノを作る際には、やはりうまくいかないことも多く、日々試行錯誤しながら業務にあたる。

✓ 城間さんに いろいろお聞きしました!

今のこの仕事(職業)を選んだきっかけは?

きっかけは2つあります。

まず、世の中からモノづくりはなくなる仕事であると考え、そのモノづくりの基盤となりそうな企業を探していました。

次に、その中でも海外と近い職場・仕事が良いと考えていたところ、外資系でモノづくりに必要不可欠な工具を製造する会社があったため、この仕事を選びました。

この仕事を続けていてよかったと思うところは何ですか?

1製品につき1名の担当者ということで、開発設計から試作評価まですべて自分自身で行える点です。しかし、新しい製品を開発するため、困難も多くあります。

それらを解決し、期待通りの性能を発揮できた時はとても嬉しくやり切った気持ちでいっぱいです。

また商品発売後は、「この製品は私が開発した工具です!」と自信を持って話せまし、ユーザからの評価などを聞く機会もあり、モチベーションに繋がります。

ロールモデルを教えてください

同じ開発部署で働く先輩・上司です。

入社当時何もわからない状態だったのですが、根気よく指導してくださいました。

また既婚者も多く、私も結婚したばかりのためどのように仕事と私生活を両立していくか、色々参考にしています。

ワークライフバランスについて教えてください

始業時間が決まっているため、大学時代に比べると規則正しい生活を送っていると思います。開発の進捗次第では遅くまで仕事をしていることもありますが、それを越えると一段落つき、自由時間をとることができます。

週末は基本的に休みのため、買い物したり、映画を見たりと、ゆっくりする時間を設けています。四六時中仕事のことを考えていると気が滅入るので、メリハリをつけて気分転換しています。

学生時代の自分を振り返って

学生時代の自分について、やりたいことはやってきたため、大きい後悔はありません。

それを実現するために家族や周囲の方々に沢山協力して頂けて感謝しています。

社会人になると、まとまった自由時間が取りづらいため、新しいことに挑戦することに気力が必要だと感じます。もっと色々挑戦できることもあったんじゃないかなあと漠然と思ったりもします。



社会に出る前の皆さんへメッセージをお願いします!

思っているよりも自分のやりたいことに割く時間が足りないことを痛感しています。なんでもできるうちに、少しでもやりたいことがあれば目いっぱい挑戦してほしいです。